

日本農業の成長産業化に向けた取組

株式会社クボタ

2016年2月25日

1. 農業経営のプロセスを総合的に支援

For Earth, For Life
Kubota

農業トータルソリューション提供企業を目指す



2.農機のラインナップ

(1)生産者の多様なニーズに対応①

お客様

ラインアップのコンセプト

①一般的な兼業農家層向け

- ・小規模 ・中山間地
- ・高齢化 ・委託 ・離農
- ・**顧客数の70%を占める**

長く農業を続けていただくために

- ・安全 ・簡単操作 ・軽労化



ニューラクティ
(2条刈 151万円～)



キョート
(3条植 57万円～)



バインダー



耕うん機

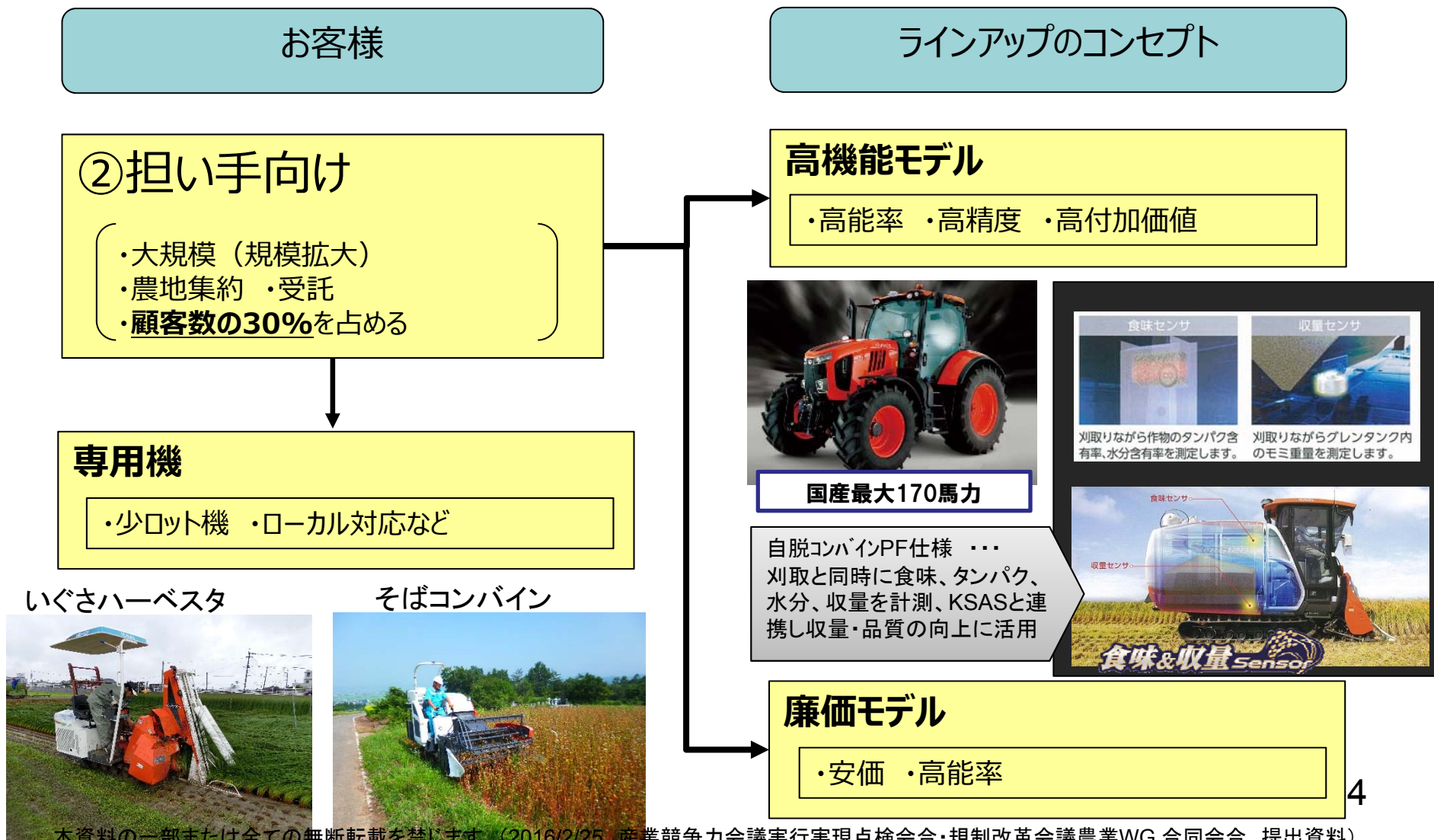


ミニ耕うん機

3

2. 農機のラインナップ

(1) 生産者の多様なニーズに対応②



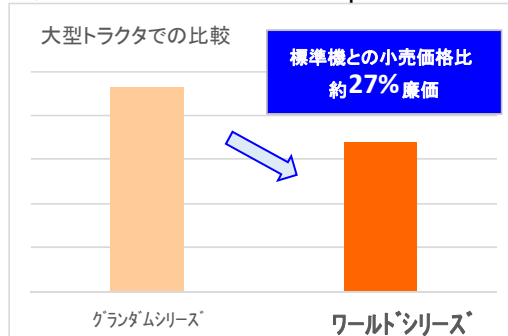
2.農機のラインナップ

(2)担い手向け 廉価モデルについて

廉価モデルの導入 … 生産費の低減をサポート

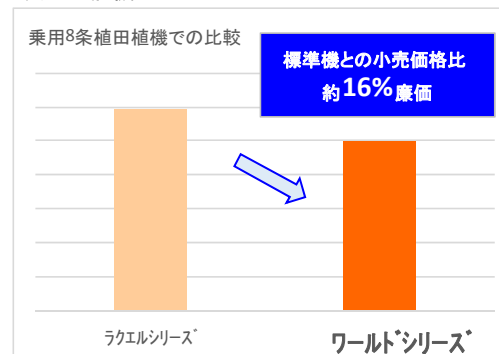
●シンプル機能に絞り込んだモデルの販売(ワールドシリーズ)

トラクタ 3型式 43~108ps



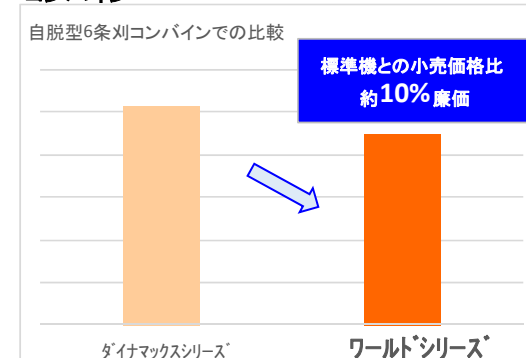
仕様の違い	各種電子制御、倍速(旋回)、作業機の水平制御、自動変速 等
-------	-------------------------------

乗用田植機 2型式 ディーゼル6・8条



仕様の違い	アクセル運動主変速レバー、各条自動復帰機構 LEDランプ表示マスコット、苗つぎエンジンストップ、満タン警報 等
-------	--

コンバイン 自脱4-6条3型式 汎用1型式



仕様の違い	自動脱穀制御、自動水平制御 刈取昇降速度制御、車体水平制御 等
-------	------------------------------------



2.農機のラインナップ

(3)生産者のニーズを製品開発に活かす取り組み

■ 担い手研究会

メーカー各部門の意思決定者が担い手からニーズを直接ヒアリング
・9県20軒の担い手訪問を実施
(2014-15年)

⇒実現した事例
安価なそばコンバイン投入（'16年予定）

■ CSアンケート

ご購入いただいたお客様へのアンケート調査にてニーズやご意見を収集
・年間約30000軒を発送し
返信率50%超

⇒実現した事例
ディーラーの活動改善や製品の改善

個別テーマの市場調査
(開発チームのルーティン)

製品・サービス
開発へ

■ 技術向上委員会

ディーラー及び各地区サービスからの市場ニーズ収集・意見交換
・総会と土耕、移植、収穫の各部会
それぞれ年1回開催

⇒実現した事例
ワールドシリーズの仕様決定など

■ 市場営業情報制度

現場のスタッフから製品改善要望やお客様のご意見を収集する制度
・年間5000件程度の情報を収集

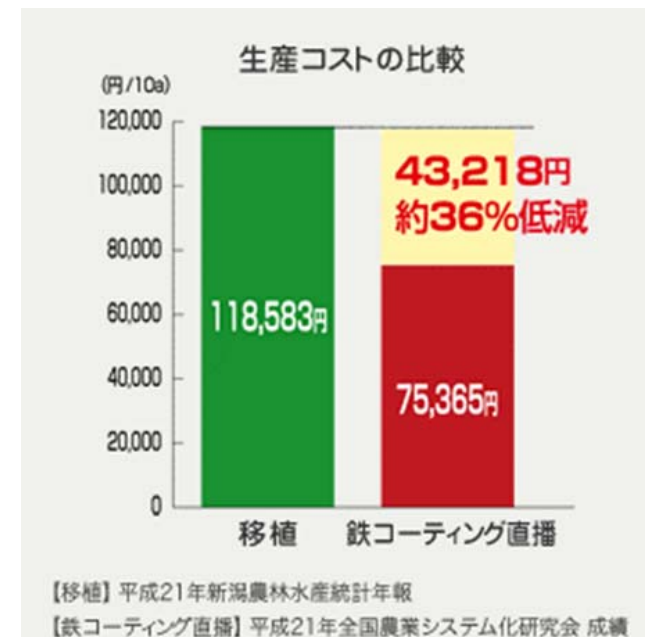
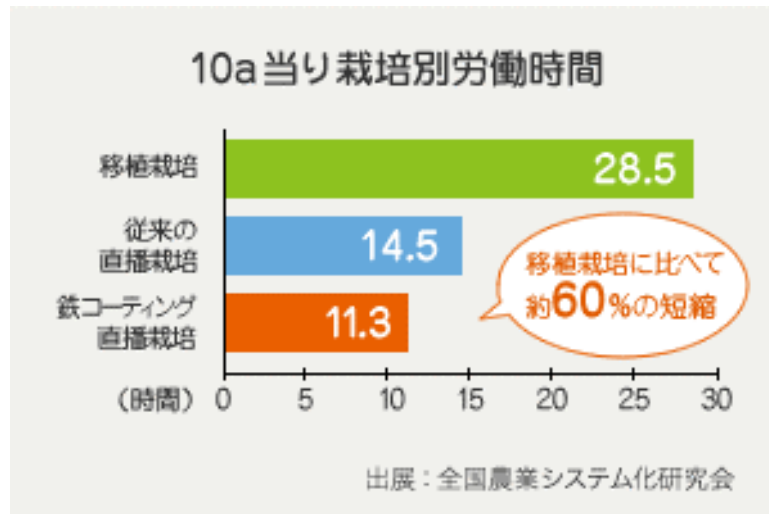
⇒実現した事例
現行機の装備・機能改善など

6

3. 農業成長産業化への取組 … 生産から販売消費まで

(1) 担い手の営農を支援する取組

① 鉄コーティング直播栽培 … 稲作の低コスト化をサポート



3. 農業成長産業化への取組 … 生産から販売消費まで

(1) 担い手の営農を支援する取組

②クボタファーム … 低コスト農業の実証 ⇒ ソリューション提案へ

- 新しい製品や技術を実証・検証し、低コスト農業に貢献するソリューション提案を行う
- 現在4ヶ所（新潟×2、熊本、兵庫）設置、今後10ヶ所を準備・構想中



③KSASクラウドサービス … ICT活用による営農全般のサポート

(KSAS …クボタスマートアグリシステム)

- ・ 多筆圃場管理
- ・ 営農データ
- ・ 作業記録
- ・ 機械稼動情報
等を見える化



KSAS対応
近赤外線
水分計付
乾燥機
→



3. 農業成長産業化への取組 … 生産から販売消費まで

③KSASクラウドサービス … 活用の実証例

高品質な良食味米作りをめざした実証テスト

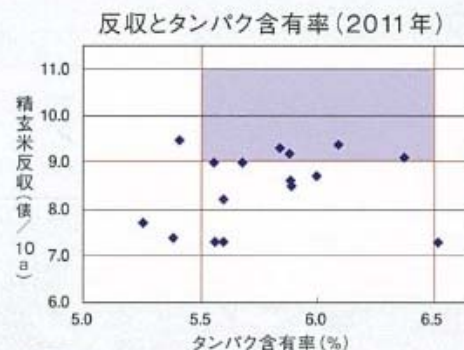
実証テストの結果、品質と収量の向上・安定が見られました。

2011年から取り組んだ実証テストにより、圃場ごとの施肥窒素をコントロールし、タンパク含有率を調整することで、収量・食味を改善できました。これらを測定・改善していくことで、安定した良食味米を実現できることが実証されました。 ※作業や天候条件により、効果は変動します。

実証圃場での目標値

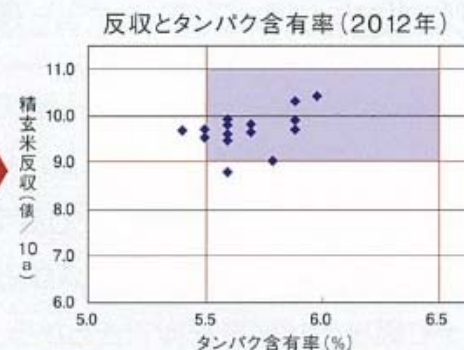
タンパク6%

新潟県での実証例 (2011年から2013年にクボタ独自で実証したテストの実証例です。)



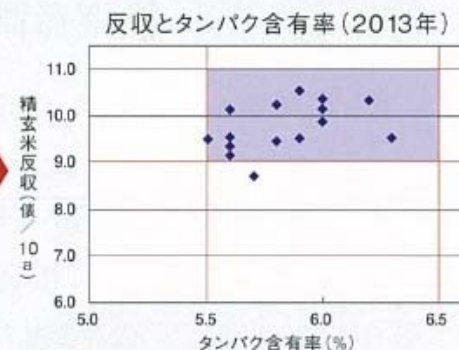
1年目

圃場ごとの収量・食味のバラツキを
発見。



2年目

圃場ごとに実施した施肥窒素をコントロールし、バラツキを改善。収量と食味を目標ゾーンに近づけた。



3年目

2年目同様、収量・食味を目標ゾーン内に維持できた。

3. 農業成長産業化への取組 … 生産から販売消費まで

(2) 農産物の販路拡大

① コメ輸出 … コメの販路拡大をサポート

● 香港・シンガポールに玄米で輸出し、現地精米・販売する拠点を設立

・2015年販売実績 1500t

・2016年販売計画 3600t



② 玄米ペースト … コメの消費拡大をサポート

● 玄米をペースト化し、パン(ビタミン豊富)や麺(グルテンフリーの Pasta)に加工



③ 直売所・産直イベント … 農産物の販路拡大をサポート

● おれん家ふぁ～む(直売所)

● いきいきマルシェ(産直イベント)



4. 今後の取り組み

(1) 生産者のニーズに応える製品開発

■ 廉価機ニーズ（農機具費低減）への対応 …… ワールドシリーズを拡充

⇒ 中国・タイ生産機の国内導入



■ 省力・省人化や高精度・高能率化への対応



← GPSによる
自動運転・作業
デモの様子

アシストスーツ →

重量物もラクラク



4. 今後の取り組み

(3) コスト低減の取り組み

■ 開発・設計

- ・海外市場の拡大と共通設計によるコストダウン
- ・新機種開発時のVA活動
- ・部品点数・種類削減、兼用化の推進
- ・コンカレント活動の推進（造りやすさの追求など）

■ 調達

- ・海外調達の拡大
- ・社内及び取引先との改善活動及びコンカレント活動

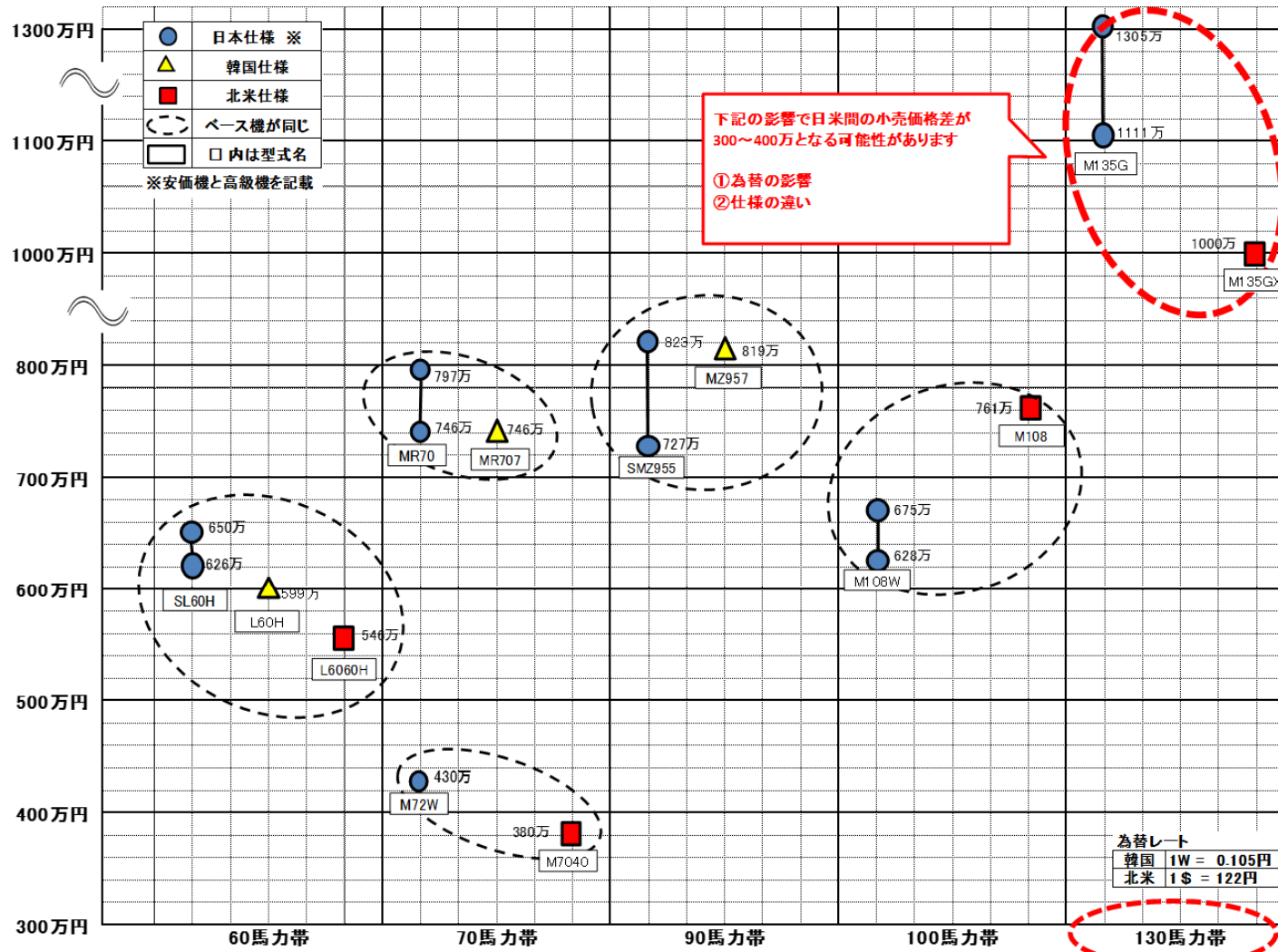
■ 製造

- ・継続的な生産性向上活動（見える化、手元化、ライン配置最適化、自動化など）

■ その他

- ・部品供給年限の延長（自社基準 最低15年以上）
- ・営農規模・作物に最適な機械導入の提案（シミュレーションソフトの活用）

※参考 日米韓トラクタ 価格・仕様比較



日本仕様との主な相違点	韓国	▲片ブレーキ防止装置(緊プロ) ▲低速車マーク ▲無線LANユニット(ICT機能) 等	+油圧取出口の数 +ウエイト標準装備 +韓国の道路法対応 等	+油圧取出口の数 +防錆シール +ウエイト取付台 等		
	北米	▲旋回補助装置 ▲水平制御 ▲ミッション(日本:無段変速、米:HST+メカ)	▲日よけ ▲高級タイヤ ▲クリーブ速度 等		+マフラパイプ +トレーラ装着ソケット +エンジン始動抑制機能付シート 等	▲タイヤ(日本は輸入タイヤ) ▲水平制御 ▲無線LANユニット(ICT機能) 等

▲: 日本仕様との比較で装備がないもの、+: 日本仕様への追加装備

※参考 ワールドシリーズ（廉価モデル）の販売推移

■WRトラクタの推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	08-15計
43ps				19	15	11	6	9	6	5	1	72
68-72ps	31	30	19	22	19	18	2		113	222	185	661
82ps	24	19	10	10	12	18	1					94
90ps	56	35	35	18	37	34	18	3				236
108ps							229	141	152	184	73	779
①ワールド計	111	84	64	69	83	81	256	153	271	411	259	1,842
②一般型式	856	886	1222	1930	2146	1940	1791	2037	2429	2304	2343	19884
③(①+②)合計	967	970	1286	1999	2229	2021	2047	2190	2700	2715	2602	21726
①/③WR構成比	11%	9%	5%	3%	4%	4%	13%	7%	10%	15%	10%	8%

※L4305は2008より発売。

※一般型式は42～44ps及び65～110psのWR以外の型式を集計。

■WR田植機の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	13-15計
WP60D								6	377	401	327	1105
WP80D									2	64	85	151
①ワールド計								6	379	465	412	1256
②一般型式								3,518	3,934	4,269	3,141	11,344
③(①+②)合計								3,524	4,313	4,734	3,553	12,600
①/③WR構成比								0%	9%	10%	12%	10%

※一般型式は6-8条のWR以外を集計

■WRコンバインの推移

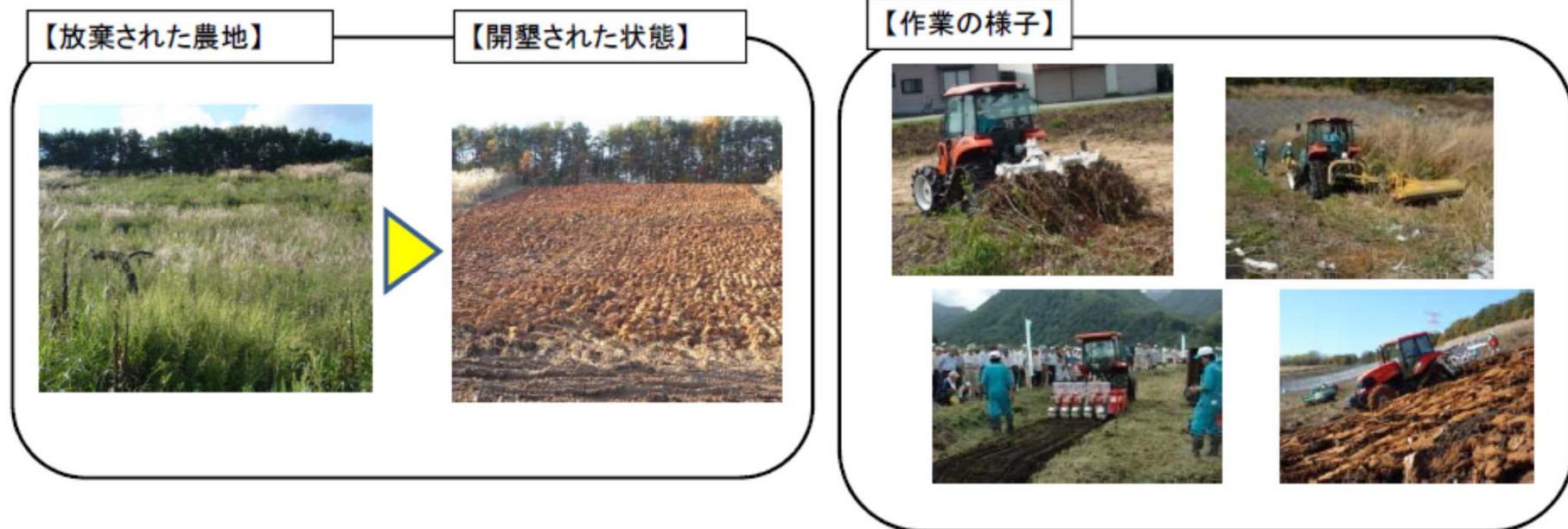
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	10-15計
4条							205	360	434	420	232	1,651
5条						111	173	181	211	200	159	1,035
6条								48	69	72	73	262
汎用100ps								84	200	105	117	506
①ワールド計						111	378	673	914	797	581	3,454
②一般型式						1,402	1,167	1,138	1,512	1,384	1,066	7,669
③(①+②)合計						1,513	1,545	1,811	2,426	2,181	1,647	11,123
①/③WR構成比						7%	24%	37%	38%	37%	35%	31%

※一般型式は中型コンバイン4-6条及び大型汎用コンバインのWR以外を集計

※参考 eプロジェクトの取り組み

■ 耕作放棄地再生支援や産直品イベント等を通して農業へ貢献

・耕作放棄地再生支援（29府県 150haで実施）



・産直品紹介イベントなど

